

《 総合計画って何? 》

市政を総合的・計画的に運営する基本となるもので、平戸市のまちづくりのための総合的な指針となるものです。

平戸市が目指す未来像を掲げ、地域コミュニティ、産業・観光振興、教育文化・保健福祉の充実など各分野についての取り組みを明記した、市の最上位の計画として位置付けられます。

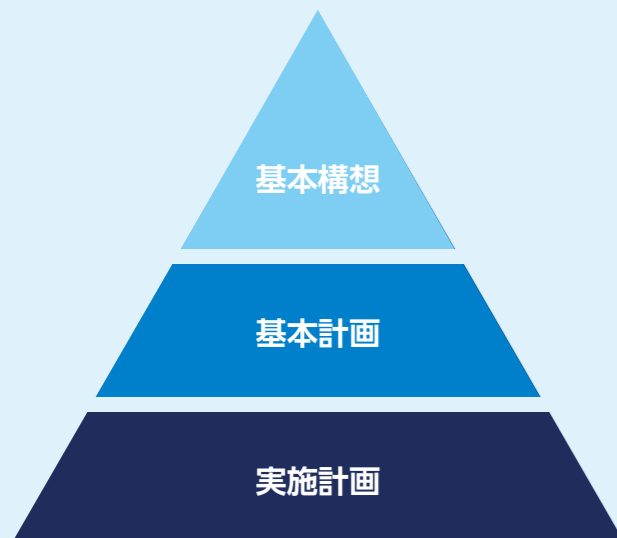
基本構想、基本計画、実施計画の3階層で構成され、長期的なまちづくりの方向性を明らかにします。

《 策定の目的は? 》

社会経済情勢の目まぐるしい変化によりライフスタイルの多様化、少子高齢化の進行、人口の減少など多くの課題に直面し、地域活力の低下が懸念されるなか、地域の自主性及び自立性が大変重要となってきています。

このような背景を踏まえ、市民や地域、団体、企業、行政が未来像を共有し、手を携え「ずっと住み続けたい!住んでみたい!訪れたい!」と思える魅力的なまちの実現に取り組んでいくためです。

《 総合計画の3階層 》



基本構想とは

未来の本市のあるべき姿を示すとともに、これらを実現するための基本的な施策の方向を明らかにし、市政運営の指針とするものです。

基本計画とは

基本構想の実現のための基本的な施策を体系的に定めたもので、市政運営を総合的かつ計画的に進めていくためのもので、前期、後期に分けて中間見直しを行います。

実施計画とは

基本計画に示した施策を計画的かつ効率的に実施するためのもので、具体的な事業を示したものです。

《 総合計画の期間 》

| 平成30年度 | 平成31年度 | 平成32年度 | 平成33年度 | 平成34年度 | 平成35年度 | 平成36年度 | 平成37年度 | 平成38年度 | 平成39年度 |
|----------------------|--------|--------|-------------|----------------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 基本構想 (平成30年度～39年度) | | | | | | | | | |
| 前期基本計画 (平成30年度～34年度) | | | | 後期基本計画 (平成34年度～39年度) | | | | | |
| 実施計画 | | | 実施計画は毎年度見直し | | | | | | |
| 実施計画 | | | | | | | | | |
| 実施計画 | | | | | | | | | |

未来の平戸市のために!

NEXT HIRADO CITY MASTER PLAN

2018 - 2027

次期平戸市総合計画

新しい時代にふさわしい誇りの持てるまちづくりを目指し、今年度に最終年度を迎える現総合計画に引き続き、今後10年間のまちづくりの指針となる次期総合計画の策定を進めています。

☎ 企画財政課企画統計班 ☎ 内線 2335



合併後、初めて策定した平戸市総合計画は「ひと(HITO)響きあう宝島 平戸」をまちの将来像として掲げ「ともに支えあっていく協働の精神による市民と行政が一体となったまちづくり」を基本理念として、市民と行政の協働により、戦略的かつ重点的な市政運営を推進してきました。

次期総合計画では、これまでのまちづくりの取り組みの成果を土台とし、平戸市の将来像を描き、市民と一体となって、新たなステージでのまちづくりを進めていきます。

「ずっと住み続けたい!住んでみたい!訪れたい!」と思える魅力的なまちの実現へ

平戸市総合計画審議会委員
および
平戸市総合計画
基本構想起草委員会委員



いまがわ りょうせい さん
今川 亮生 さん
(大久保町)

「平戸市総合計画基本構想起草委員会」は「次期平戸市総合計画」の骨子案を作るために、21人いる「平戸市総合計画審議会」のメンバーの中から選出された6人で構成されています。今回は、この委員の一人、今川亮生さんにお話を聞きました。

激しく変わる環境の中で

人口の都市への流出は、多くの過疎地域を生み出し、そ

の地域住民にもさまざまな課題を突き付けています。かつて寺の周りでは、年齢もさまざまな子どもたちが遊ぶ光景がありました。現在は子ども数も激減し、遊び方も様変わりしています。昔は遊びの中で自然に学んでいた人間関係やルールなどを意識して教えなければならなくなっているようです。

また、都会へ出て行く人も平戸の現状や良さ、歴史、伝統文化などを少しでも多く

「私たちひとりひとりが主人公」という思いを

知ってほしいという思いがあります。それが引いては平戸のことを広めてもらえるのではとの期待感があるからです。

地域は運命共同体

今、全国で地域創生や地域活性化が叫ばれています。人口激減の地域社会にあつては、このままでは生き残れないとの予想もされています。今後、平戸が良くなるのも悪くなるのも住民自身にかかっています。私たちは「運命を共にするこの地の主人公」なのです。さまざまな課題に取り組むことは、そのまま私たちの未来の姿になるのではないのでしょうか。地域課題の共有感を創っていくことが求められていると感じています。

「宝物」は磨いてこそ

私たちの平戸には、日本の

社会や文化に関わる歴史や史跡が残されています。地域特有の植物・生物などが息づく自然、新鮮な魚介類や農畜産物も豊かで、本当に素晴らしいふるさとなのです。この多くの宝物を再発見する力が、必要だと感じています。そして、宝物は今という時代にあつて、磨いてこそ本物になるのではないかと思います。

危機感とわくわく感を

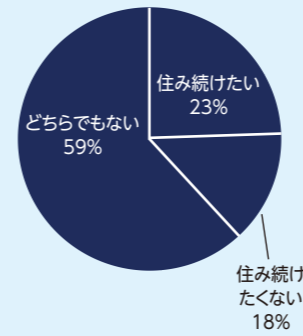
今もこの地で懸命に頑張っている人が多くいます。次期平戸市総合計画は、市民全体が課題を共有し、危機感を持って諦めず、共に取り組んでいけるような計画にしたいと思っています。

そして、読みやすく、手にとつて現状を実感するだけでなく、わくわく感をいだき、ふるさと「平戸」に誇りを持つてもらえるよう願っています。

総合計画を策定するための基礎資料として、一般、中高生を対象に平戸市への思いや未来の平戸市へのアンケート調査を実施しました。その中から中高生のアンケート結果を紹介します。

■中学生

●平戸市に住み続けたいですか？

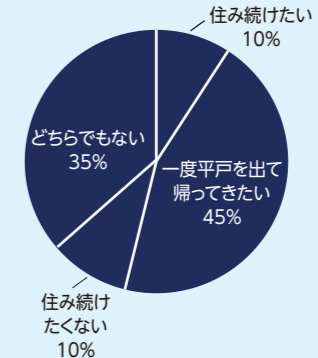


●特に取り組みが必要なのはなんですか？

| | |
|-----|--------------|
| 第1位 | 高齢者の支援 |
| 第2位 | 自然保護や環境を守ること |
| 第3位 | 歴史や伝承の保存・継承 |
| 第4位 | まちの美化・緑化 |
| 第5位 | ごみの減量・リサイクル |

■高校生

●平戸市に住み続けたいですか？



●特に取り組みが必要なのはなんですか？

| | |
|-----|--------------------------|
| 第1位 | 高齢者の支援 |
| 第2位 | 子育て支援 |
| 第3位 | 歴史や伝承の保存・継承 |
| 第4位 | 自然保護や環境を守ること |
| 第5位 | ・産業を盛んにすること ・まちの美化・緑化 |

《 みんなでつくる総合計画 》

次期平戸市総合計画は、市だけではなく下記のイメージ図のように、さまざまな声を聞きながらよりよい計画ができるよう進めていきます。



《 市民の声も反映 》

市民の皆さんのさまざまな声を次期計画に反映させるため、下記のとおり各地区で市民ワークショップを開催します。お近くの会場でお気軽にご参加ください。

市民ワークショップ開催日時

| 日にち | 会場 | 時間 |
|----------|-----------|--------------|
| 5月19日(金) | 平戸市役所生月支所 | 午後7時～(90分程度) |
| 5月23日(火) | 大島村公民館 | |
| 5月25日(木) | ふれあいセンター | |
| 5月29日(月) | 未来創造館 | |
| 6月2日(金) | 多目的研修センター | |
| 6月9日(金) | ふれあいセンター | |
| 6月12日(月) | 未来創造館 | |
| 6月16日(金) | 多目的研修センター | |
| 6月20日(火) | 度島浦公民館 | |
| 6月23日(金) | 田平町民センター | |